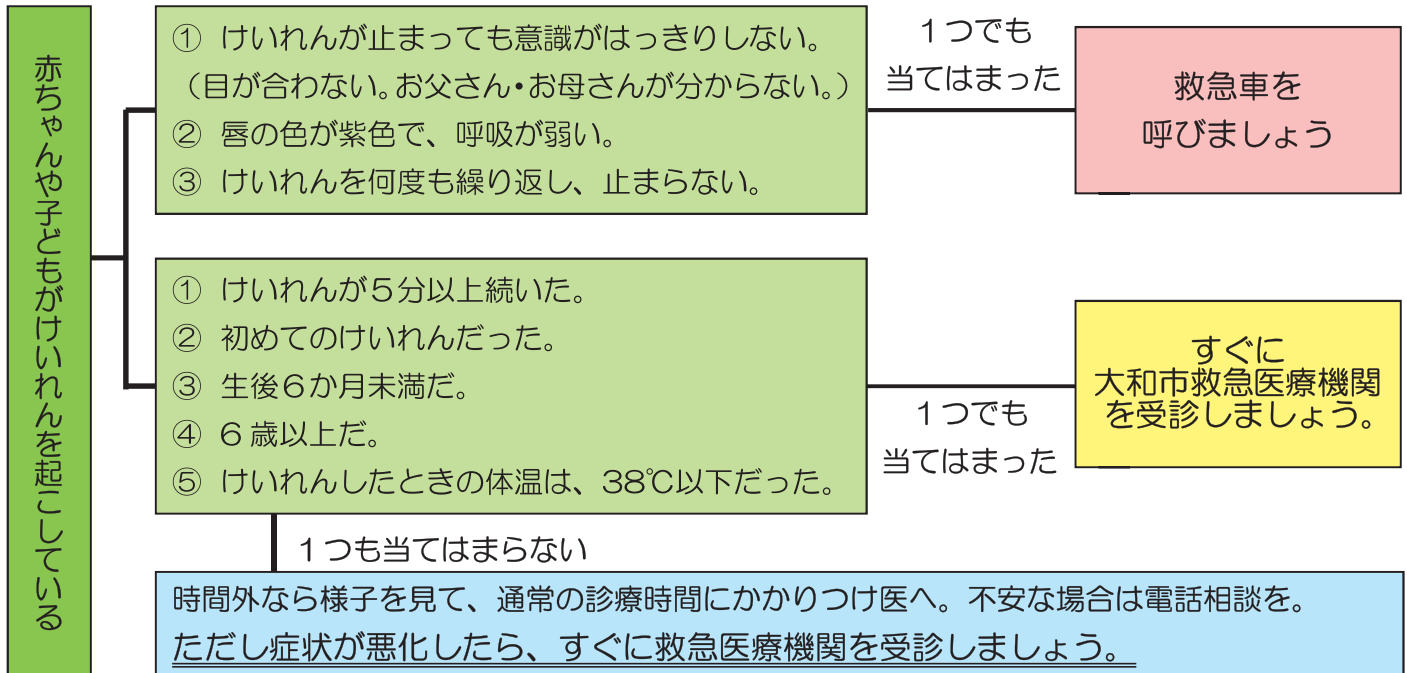


けいれん(ひきつけ)を起こした

けいれんとは運動神経が異常に興奮することで、身体の全体や一部が突っ張ったり、力が抜けたり、ピクピク震えたりすることです。

多くは急な発熱のときに起こり数十秒で治まる熱性けいれんです。

けいれん中は一時的に白目をむいたり、唇の色が悪くなったりし、呼びかけにも反応しなくなります。



◆ 家庭でけいれんやひきつけが起こった場合は、 まずは以下の点に注意して対処するとよいでしょう

- ① 抱きしめたり、ゆすったり、たたいたり、大声を出さないこと。
- ② 平らなところに静かに寝かせて、呼吸がしやすいように衣服をゆるめましょう。
- ③ けいれんの際に吐いてしまうと、口やのどがふさがり危険です。顔を横に向けましょう。
- ④ 口の中にはものや指を入れないようにしましょう。
- ⑤ 意識が回復するまで、目を離さずに付き添ってあげましょう。
- ⑥ 目の動きや手足の状態（左右に差があるか）を見て、余裕があればどのくらいの時間けいれんが継続しているかを計ってみましょう。
- ⑦ けいれんが治ったら、体温を計りましょう。
- ⑧ 飲み物や飲み薬は、意識が回復するまで与えないようにしましょう。
- ⑨ 静かな部屋でゆっくり休ませてあげましょう。

